

2022年4月19日

高等教育キーパーソン各位

大学教育の多様化と教学責任 ——

教学マネジメントと質保証の実質化方策

～ 「大学設置基準」「設置認可審査」「認証評価」「情報公開」の深化 ～

【5月17日（火曜日）開催】

ご参画・ご派遣のお願い

さる3月18日、中教審大学分科会質保証システム部会は「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について（審議まとめ）」を取りまとめました。このまとめでは、公的な質保証システムを構成する「大学設置基準」、「設置認可審査」、「認証評価制度」、「情報公表」それぞれの改善・充実の方向性が示された他、現行の制度下においても対応可能で効果的な方策等についても示されました。

同部会は、2020年1月の「教学マネジメント指針」を受けて、同年7月にスタートし、14回に及ぶ検討・審議（途中で、作業チームの3回の調査審議あり）の所産であります。

本セミナーでは、2018年11月の「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」を起点に、「教学マネジメント指針」、そして今回の質保証システム部会における「審議まとめ」といった、ここ数年の大学分科会における政策シナリオについて、きちんとフォローし確認していくとともに、今後の質保証システム改革の方向性について、コアパーソンでおられる3名の講師からご講義いただきます。

第1講では、大学分科会委員として、教学マネジメント特別委員会座長を務められ、さらに質保証システム部会でも副部長を務められた日比谷 潤子氏から、この間の大局的な流れの整理とともに、「審議まとめ」の詳解、教学マネジメントの深化、そして、これからの情報公表について、ご講義を賜ります。

第2講では、元・大学設置分科会委員として長年にわたる豊富な知見を有する浅田 尚紀氏から、大学設置認可制度とその運用に焦点を当て、これまでの状況、大学設置基準及び設置認可・届出審査の見直しの今後の方向性、重要な論点についてご講義を賜ります。

第3講では、前田 早苗氏からは、(財)大学基準協会等における評価・研究活動を踏まえ、認証評価制度に焦点を当て、これまでと現在の状況、課題の検証、情報公開の在り方、そして、今後の認証評価制度の方向性について、ご提言を賜ります。

最近の政策動向を改めて確認し、貴学の「これからの教学マネジメント」の実質化と「教育質向上」の具体化に活かす絶好のセミナーです！

本セミナーの参加方式は、「当日会場参加」・「当日オンライン参加」・「メディア参加」の3形式をご用意しております。何卒、ご参画・ご派遣につき、ご高配のほど、お願い申し上げます。

また、年度初めのご多忙のところとは存じますが、ご関心の各位に本案内を転送いただけましたら幸いです。

パンフレット版は下記をご高覧願います。

<http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/220517.pdf>

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 433 (通算 765 回)

2022年5月17日(火)

大学教育の多様化と教学責任

教学マネジメントと質保証の実質化方策

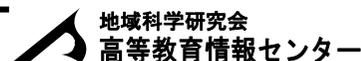
～ 「大学設置基準」「設置認可審査」「認証評価」「情報公開」の深化 ～

- ※ 「質保証システム部会」の“審議”と“まとめ”を踏まえて/学位プログラムとは～その実質化
- ※ 設置認可・届出制度による質保証/審査意見・附帯事項・指摘事項/設置基準の見直し/重要論点
- ※ 認証評価の制度と実情の検証/評価結果公表と国の責務/大学が自律的に取組む質保証と評価機関

● 講師陣 ●

- 日比谷潤子 氏 / (学) 聖心女子学院 常務理事
中教審 大学分科会 委員 質保証システム部会 副部会長
内閣官房 教育未来創造会議 構成員
- 浅田 尚紀 氏 / (公) 奈良県立大学 学長
中教審 大学分科会 質保証システム部会 臨時委員
元 大学設置・学校法人審議会 大学設置分科会 分科会長職務代理
- 前田 早苗 氏 / (国) 千葉大学 名誉教授
中教審 大学分科会 質保証システム部会 臨時委員

2022年5月17日(火) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町) & オンライン



日時: 2022年5月17日(火) 10:00 ~ 16:40

会場: 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)

千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」

A1 出口より徒歩3分

<http://www.jec.or.jp/koutuu/>

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 41,000 円(税込)

B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 44,000 円(送料、税込)

C. 高等教育同人(☆) 21,000 円(税込)

※ 「オンライン当日参加」は、ウェブ会議システム「Zoom(ズーム)」を使用予定です。

※ メディア参加とは、開催当日に聴講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDを送付します。

※ 当日参加(オンライン当日参加)とともに、音声CDをご希望の方には、別途CD代をご案内いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。

(※参加申込みの折は、必ず FAX か E-mail にてお送りください)

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03(3234) 1231 Fax: 03(3234) 4993

E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 433

(該当する□に✓印を)

年 月 日

教学マネジメントと質保証の実質化方策

当日会場参加 オンライン当日参加 メディア参加

勤務先 _____

支払方法 当日払い 銀行振込

所在地 (〒 _____)

必要書類 請求書 見積書 領収書

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
<p>10:00 }</p> <p>12:00</p>	<p>□ 学位プログラムの実質化と教学マネジメントの深化シナリオ ～ 3ポリシー／体系的な教育課程と教員編成／学修成果の可視化～ (学) 聖心女子学院 日比谷潤子</p> <p>1. 「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について(審議まとめ)」 (1) 学修者本位の教育に向けて (「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」、「教学マネジメント指針」から本審議まとめへ) (2) 全体の構成 (3) 教学マネジメントの重要性</p> <p>2. 教学マネジメント (1) 3つのポリシー (2) 授業科目・教育課程の編成・実施(「学位プログラム」) (3) 学修成果・教育成果の把握・可視化 (4) FD・SD、教学IR</p> <p>3. 情報公表 (1) 資質・能力の修得状況 (2) 修得状況のエビデンス (3) 学修目標の達成状況に関する情報 〈質疑応答〉</p>
<p>13:00 }</p> <p>14:50</p>	<p>□ 大学設置認可制度による質保証と今後の方向性 ～ 大学設置基準の見直し／専任教員から基幹教員へ／特例制度の導入～ (公) 奈良県立大学 浅田 尚紀</p> <p>1. 大学設置認可制度による質保証 (1) 認可と届出 (2) 設置計画への審査意見 (3) 認可・届出設置時の附帯事項 (4) 設置計画履行状況等調査(AC)の指摘事項</p> <p>2. 大学設置基準見直しの方向性 (1) 学位プログラムと情報公表 (2) 専任教員から基幹教員へ (3) 特例制度の導入</p> <p>3. 質保証における重要な論点 (1) 既存制度の効果的な運用 (2) 定員管理 (3) 教職員の資質能力の向上 〈質疑応答〉</p>
<p>15:00 }</p> <p>16:40</p>	<p>□ 認証評価制度・情報公開の検証と今後の方向性 ～ 内部質保証／国際適合性／受審負担軽減／情報公開の深化～ (国) 千葉大学 前田 早苗</p> <p>1. 認証評価の課題の検証 (1) 認証評価における評価方針の変遷 (2) 受審大学の負担 (3) 評価の形式化</p> <p>2. 情報公開のあり方の検証 (1) 大学としての情報公開の課題 (2) 認証評価機関の評価結果の公表のあり方の検証 (3) 国の責務としての情報公開</p> <p>3. 大学が自律的に質保証に取り組むための認証評価制度とは (1) 「内部質保証」は大学に浸透しているか (2) 学習成果の可視化、測定の前にはすべきことは何か (3) 大学の国際的通用性を高めるために何ができるか (4) 認証評価機関はどうあるべきか 〈質疑応答〉</p>